

Science Lecture 2018



え？こんなモノがあんな生き物から!?

生き物にまねる、新たなモノづくりバイオミメティクス

2018. 12. 22. Sat 13:00 -- 15:00 受付開始 12:30

北海道大学 総合博物館 1階 ホール（知の交流） 札幌市北区北10西8

※普段は立ち入ることのできない標本庫の特別見学も行います。

< 講師 >

居城 邦治

北海道大学 電子科学研究所 副所長・教授/
国際連携研究教育局 教授

大原 昌宏

北海道大学 総合博物館 副館長・教授/
大学院農学研究院 教授

< 対象 > 中学生・高校生 ※一般・小学生高学年も可能 < 定員 > 40人 < 参加費 > 無料

< 事前申し込み方法 >

受講希望者の住所・氏名・電話番号・メールアドレス・年齢・学年・学校名を明記して、はがき・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。定員になり次第、締め切ります。当日は郵送される受講券を持参してご参加ください（個人情報は、受付名簿以外では使用しません）。

〒060-8656 札幌市中央区北4条西4丁目1-8

読売新聞北海道支社 総務部事業「サイエンスレクチャー 2018」係

TEL. 011-242-5630 FAX. 011-242-3153 E-mail: d-jigyuu@yomiuri.com

主催 北海道大学 電子科学研究所, 北海道大学 総合博物館, 読売新聞北海道支社

協力 北海道大学 総務企画部広報課, 北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)

連携 TERRACE - 科学とアートが出会う場所

後援 札幌市教育委員会



Science Lecture

見えないものが見えてくる！見えかけたはずが、見失う。 ワクワク オヤオヤ フムフムするのが科学です。

北海道大学電子科学研究所は、科学の面白さと奥深さをより多くの人たちとわかちあうために、読売新聞北海道支社と連携し、「サイエンスレクチャー 2018」を開講しています。今回のテーマは「バイオミメティクス」。生き物の巧みな機能づくりに学んで、新たな科学・技術を生み出そうとする学問です。身近なこんなモノやあんなモノが、実は意外な生き物からヒントを得て生み出されています。生き物をたくさん集めて整理する博物館を舞台に、普段は見ることができない貴重なコレクションを見学して、生き物の不思議と新素材の巧みさを実感してみよう。

北海道大学 電子科学研究所 所長 中垣 俊之

とてつもなく小さな世界を対象にするナノテクノロジーの目で生物を見たら、何が見えてくるのでしょうか？生物の形や働きを「ナノテク」でまねることで、人間の役に立つものを作ることができます。すでに皆さんの身の回りにあります。探してみましよう。

居城 邦治 (いじろ くにはる)

北海道大学 電子科学研究所 副所長・教授 / 国際連携研究教育局 教授
東京工業大学大学院理工学研究科修了（工学博士）。分子とナノテクノロジーを融合して、生物の機能を模倣した光機能性材料やドラッグデリバリーシステムを開発している。



博物館には膨大な生物標本が収蔵されています。これらの標本を電子顕微鏡で撮影すると、生き物がもつ能力の謎を解くことができるかもしれません。さらにその能力を人間が利用できるとしたら素晴らしいですね。博物館とバイオミメティクスの関係を紹介します。

大原 昌宏 (おおはら まさひろ)

北海道大学 総合博物館 副館長・教授 / 大学院農学研究院 教授
北海道大学大学院農学研究科博士課程単位取得・博士（農学）。博物館に収蔵される昆虫標本をベースとした分類学、資料保存学、博物館学を専門とする。昆虫標本を活用した形態模倣バイオミメティクスを促進するためのデータベース構築に関わっている。

